

経営比較分析表（令和6年度決算）

福井県 福井市

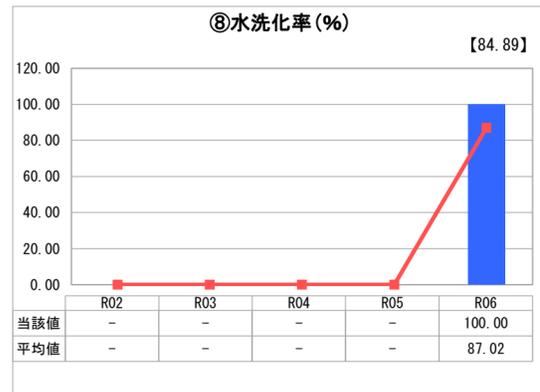
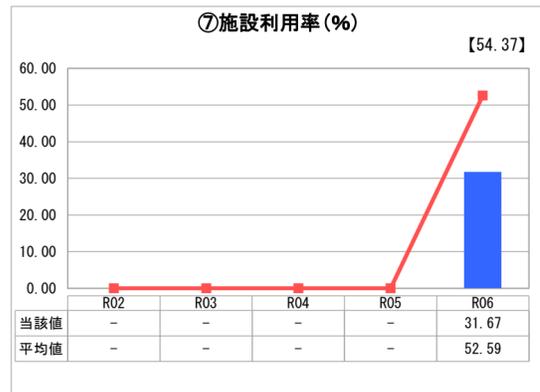
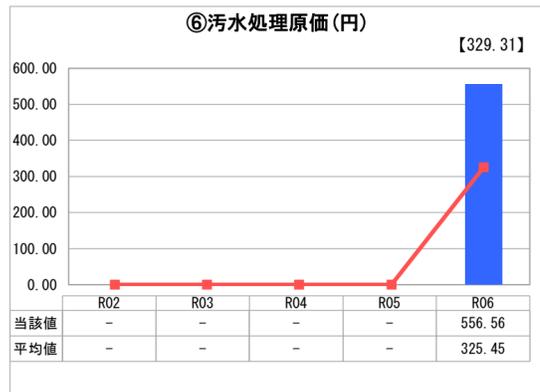
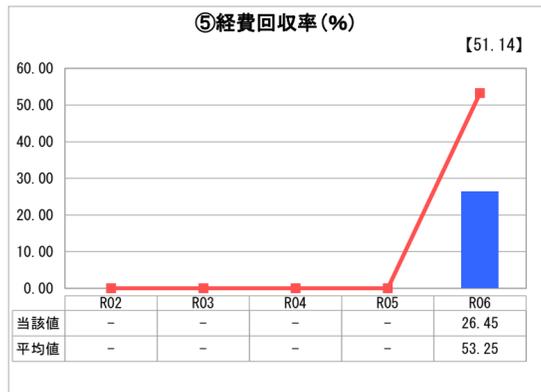
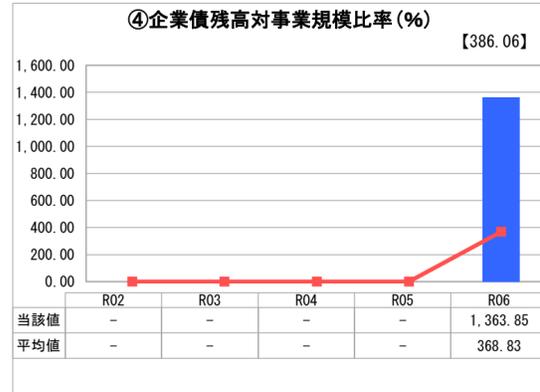
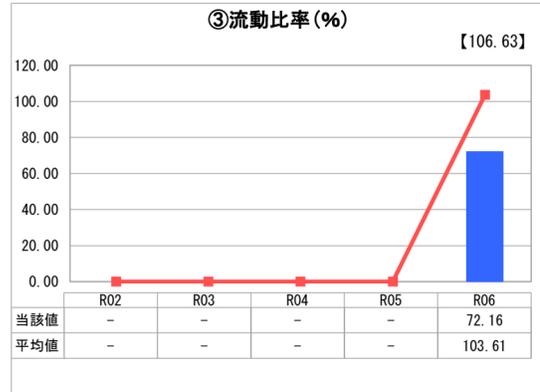
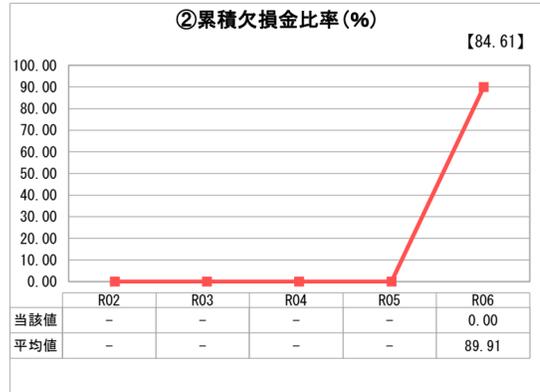
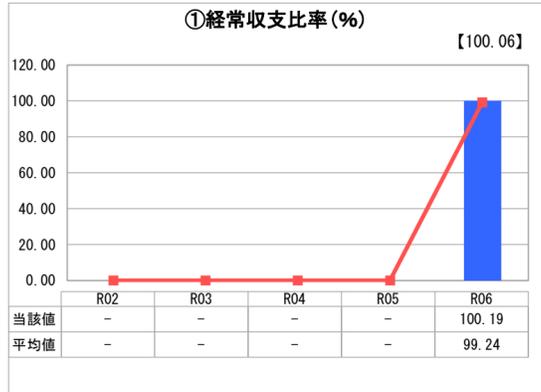
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.30	0.14	100.00	2,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
254,029	536.37	473.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
343	0.11	3,118.18

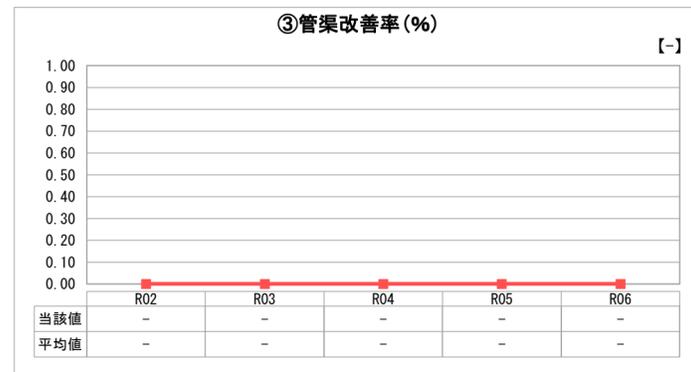
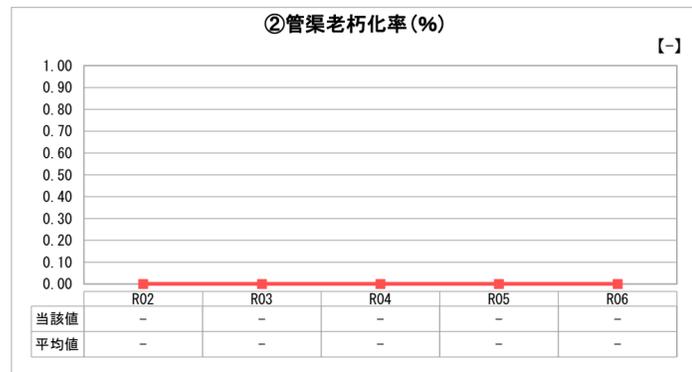
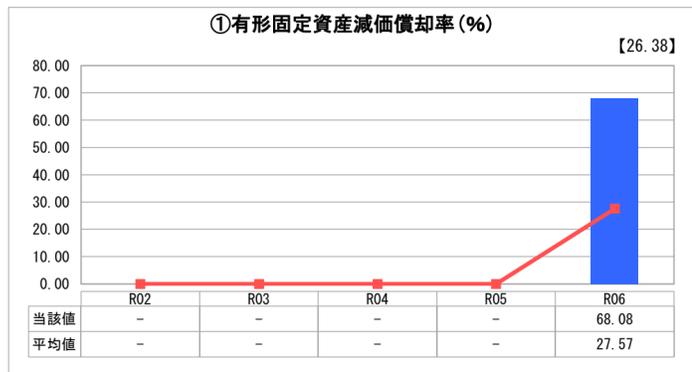
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの補助により「①経常収支比率」は100%を確保しているものの、「⑤経費回収率」は100%を大きく下回っており、使用料収入では費用を賄っていない状況である。「③流動比率」は100%を下回っており、一般会計からの繰入金で企業債の償還を賄っている状況である。「④企業債残高対事業規模比率」は類似団体平均値を大きく上回っているが、今後、残高は減少していく見込みである。「⑥汚水処理原価」は類似団体平均値を大きく上回っており、効率的な維持管理に努める必要がある。事業区域内における浄化槽の設置・接続は完了しており、「⑧水洗化率」は100%となっている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値より高く老朽化が進んでいる。

全体総括

使用料収益だけでは経営が成り立たず、一般会計繰入金に大きく依存している状況である。今後も、人口減少や節水により使用料収益は減少が予想されるため、効率的な維持管理に一層努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。